



短縮ダイヤル ウィンドウの使用 方法

この章の内容は、次のとおりです。

- [短縮ダイヤル グループの追加 \(P.5-2\)](#)
- [短縮ダイヤル グループの名称変更 \(P.5-3\)](#)
- [短縮ダイヤル グループの削除 \(P.5-4\)](#)
- [短縮ダイヤル エントリの追加 \(P.5-5\)](#)
- [短縮ダイヤル エントリの編集 \(P.5-6\)](#)
- [短縮ダイヤル エントリの削除 \(P.5-7\)](#)
- [短縮ダイヤル エントリを使用したコール制御作業の実行 \(P.5-8\)](#)

ユーザは、短縮ダイヤル エントリを短縮ダイヤル グループに分類することができ、これらのグループは [短縮ダイヤル] ウィンドウ内に個別のタブとして表示されます。これらのタブは、お互いの上に重ねられるので、必要なだけグループを追加できます。同様に、必要なだけのエントリを1つのグループに追加できます。

短縮ダイヤル エントリを使用してコール制御作業を実行する前に、1つ以上の短縮ダイヤル グループを追加し、このグループに1つ以上のエントリを入れる必要があります。また、[サンプルグループ] タブの名称を変更して、エントリを追加することができます。詳細については、[P.5-3](#) の「[短縮ダイヤル グループの名称変更](#)」を参照してください。

■ 短縮ダイヤル グループの追加



ヒント

[短縮ダイヤル] ウィンドウ内のタブを右クリックして、短縮ダイヤルグループをすばやく追加、編集、および削除できます。

短縮ダイヤル グループの追加

短縮ダイヤル エントリを編成して、短縮ダイヤル グループを作成できます。たとえば「人事部」という名称の短縮ダイヤル グループを追加し、人事部門の職員を短縮ダイヤル エントリとしてここに入れることができます。



(注)

Cisco Unified CallManager Attendant Console では、[短縮ダイヤル] ウィンドウ内で各グループを互いに重ねることができるので、必要なだけ短縮グループを追加できます。

短縮ダイヤル グループは、アルファベット順ではなく、[短縮ダイヤル] ウィンドウ内でグループを設定した順に表示されます。たとえば「人事部」短縮ダイヤル グループを設定した後に、「開発部」短縮ダイヤル グループを設定した場合、「人事部」グループが左側に表示されます。これはこのグループを先に設定したためです。

[短縮ダイヤル] ウィンドウ内で短縮ダイヤル グループを追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 次の 2 つの作業のどちらかを実行します。

- [短縮ダイヤル] ウィンドウ内でマウスを右クリックして、コンテキストメニューから [短縮ダイヤルグループの新規作成] を選択します。
- [編集] メニューから [短縮ダイヤル] > [短縮ダイヤルグループの新規作成] を選択します。

ステップ 2 ダイアログボックスの [グループ名] フィールドに新しいグループ名を入力して、[保存] をクリックします。

ダイアログボックスが自動的に閉じて、新しいタブが [短縮ダイヤル] ウィンドウに表示されます。

ステップ 3 これで、短縮ダイヤル グループの名称変更、グループの削除、およびこの短縮ダイヤル グループへの短縮ダイヤル エントリの追加が可能になります。

短縮ダイヤル グループの名称変更

短縮ダイヤル グループの名称は、任意で変更できます。「サンプルグループ」の名称変更を考慮してください。これは、Attendant Console にログインしたときに [短縮ダイヤル] ウィンドウに自動的に表示されます。

短縮ダイヤル グループの名称を変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 名称を変更する短縮ダイヤル グループのタブをクリックします。

ステップ 2 [短縮ダイヤル] ウィンドウ内でマウスを右クリックして、コンテキスト メニューから [短縮ダイヤルグループの名前の変更] を選択します。

ステップ 3 ダイアログボックスの [グループ名] フィールドに新しいグループ名を入力して、[保存] をクリックします。

ダイアログボックスが自動的に閉じて、名称変更されたタブが [短縮ダイヤル] ウィンドウに表示されます。

短縮ダイヤル グループの削除

短縮ダイヤル グループは、任意で削除できます。短縮ダイヤル グループを削除すると、そのグループ内のすべてのエントリが削除されることに注意してください。

短縮ダイヤル グループを削除するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 削除する短縮ダイヤル グループのタブをクリックします。

ステップ 2 次の 2 つの作業のどちらかを実行します。

- [短縮ダイヤル] ウィンドウ内でマウスを右クリックして、コンテキストメニューから [短縮ダイヤルグループの削除] を選択します。
- [編集] メニューから [短縮ダイヤル] > [短縮ダイヤルグループの削除] を選択します。

ステップ 3 グループの削除を確認するプロンプトが表示されたら、[はい]、[いいえ]、または [キャンセル] をクリックします。



注意

[はい] をクリックすると、その短縮ダイヤル グループ内のすべての短縮ダイヤル エントリが削除されます。

[はい] をクリックすると、そのグループのタブが [短縮ダイヤル] ウィンドウから消去されます。



ヒント

短縮ダイヤル グループのタブをクリックすると、そのグループの名称が [短縮ダイヤル] ウィンドウの左上隅に表示されます。

短縮ダイヤル エントリの追加

短縮ダイヤル エントリには、人名、電話番号、短縮ダイヤル グループに追加した人物に関する注記があります。短縮ダイヤル エントリを追加することによって、迅速なコールを開始、転送、打診転送を実行し、さらに短縮ダイヤル エントリに関連する人物との電話会議を開始できます。

Cisco Unified CallManager Attendant Console では、各短縮ダイヤル エントリに人名、および電話番号を入力する必要があります。ただし [説明] フィールドには、情報を入力しなくても構いません。

[短縮ダイヤル] ウィンドウ内で短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** エントリを追加する短縮ダイヤル タブをクリックします。
- ステップ 2** 次の 2 つの作業のどちらかを実行します。
- [短縮ダイヤル] ウィンドウ内でマウスを右クリックして、コンテキストメニューから [短縮ダイヤルの追加] を選択します。
 - [編集] メニューから [短縮ダイヤル] > [短縮ダイヤルの追加] を選択します。
- ステップ 3** ダイアログボックスが表示されたら、該当するフィールドに人名、電話番号、および注記を入力します。
- ステップ 4** [保存] または [保存して閉じる] をクリックします。



(注) [保存] をクリックすると、短縮ダイヤル グループにもう 1 つの短縮ダイヤル エントリが即時に追加されます。

ダイアログボックスが自動的に閉じて、この短縮ダイヤル エントリが [短縮ダイヤル] ウィンドウに表示されます。



必要に応じて、ディレクトリ エントリを [ディレクトリ] ウィンドウから [短縮ダイヤル] ウィンドウにドラッグすることによって、短縮ダイヤル エントリを追加できます。

短縮ダイヤル エントリの編集

短縮ダイヤル エントリの人名、電話番号、および注記は、任意で編集できます。Cisco Unified CallManager Attendant Console では、各短縮ダイヤル エントリに人名、および電話番号を入力する必要があります。ただし [説明] フィールドには、情報を入力しなくても構いません。

短縮ダイヤル エントリを編集するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** エントリを編集する短縮ダイヤル タブをクリックします。
- ステップ 2** 更新する短縮ダイヤル エントリをクリックします。
- ステップ 3** 次の 2 つの作業のどちらかを実行します。
 - [短縮ダイヤル] ウィンドウ内でマウスを右クリックして、コンテキストメニューから [短縮ダイヤルの編集] を選択します。
 - [編集] メニューから [短縮ダイヤル] > [短縮ダイヤルの編集] を選択します。
- ステップ 4** ダイアログボックスが表示されたら、該当するフィールドで人名、電話番号、および注記を編集します。
- ステップ 5** 情報を保存するには、[保存] をクリックします。

ダイアログボックスが自動的に閉じて、更新された短縮ダイヤル エントリが [短縮ダイヤル] ウィンドウに表示されます。

短縮ダイヤル エントリの削除

短縮ダイヤル エントリは、任意で削除できます。短縮ダイヤル エントリを削除すると、エントリ全体が削除されます。エントリ内の特定のフィールドだけを削除することはできません。ただし、注記のフィールドだけは、情報を削除できません。その場合は、短縮ダイヤル エントリの編集を行ってください。

短縮ダイヤル エントリを削除しても、短縮ダイヤル グループ全体は削除されません。短縮ダイヤル エントリを削除するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** エントリを削除する短縮ダイヤルタブをクリックします。
 - ステップ 2** 削除する短縮ダイヤル エントリをクリックします。
 - ステップ 3** 次の2つの作業のどちらかを実行します。
 - [短縮ダイヤル] ウィンドウ内でマウスを右クリックして、コンテキストメニューから [短縮ダイヤルグループの削除] を選択します。
 - [編集] メニューから [短縮ダイヤル] > [短縮ダイヤルの削除] を選択します。
 - ステップ 4** エントリの削除を確認するプロンプトが表示されたら、[はい]、[いいえ]、または [キャンセル] をクリックします。

[はい] をクリックすると、その短縮ダイヤル エントリが [短縮ダイヤル] ウィンドウから消去されます。
-

短縮ダイヤル グループ内のエントリのソート

[短縮ダイヤル] ウィンドウ内の [名前] ヘッダーをクリックして、短縮ダイヤル エントリを人名でソートできます。ヘッダー内に表示された上向きの矢印は、エントリを昇順にソートしていることを示し、下向きの矢印は、降順にソートしていることを示します。

短縮ダイヤル エントリを使用したコール制御作業の実行

ユーザつまり [短縮ダイヤル] ウィンドウに表示される短縮ダイヤル エントリに影響するコール制御作業は、次のとおりです。

- ユーザへのコールの開始
- [通話制御] ウィンドウにあるコールのユーザへの転送
- ユーザに転送可能か否か確認し、[通話制御] ウィンドウにあるコールをユーザへ転送
- [通話制御] ウィンドウにある電話会議へのユーザの追加
- [通話制御] ウィンドウにあるコールをユーザのボイス メッセージ システムへ転送

コール制御作業の実行方法については、[P.2-1](#) の「[コールの処理](#)」を参照してください。